

(仮称)文化芸術ホール整備に向けた気運醸成事業支援業務委託 事業候補者募集要項

1 目的

区は、令和3年3月に策定した「港区文化芸術振興プラン 令和3年度～令和8年度」を踏まえ、(仮称)文化芸術ホール(以下「文化芸術ホール」といいます。)が全ての区民に愛される施設となるよう、区民の文化芸術への理解を促進するとともに、令和9年度開館に向けて文化団体や研究機関、福祉施設等地域資源との関係性を蓄積するため、令和4年度から、気運醸成事業を実施します。

令和4年度の気運醸成事業では、多様な区民が文化芸術に関心を持ち、参加できる事業とするため、企画内容の調整から事業に関わる専門家等との調整、リサーチ・シンポジウム・ワークショップを関連付けながら効果的に推進できるノウハウを持ち、文化芸術やリサーチ(研究)に関する専門的知識や類似事業に関する経験、区の地域課題に寄り添い解決に向けて積極的に貢献する意欲のある事業者を選定することが不可欠であることから、下記のとおり公募型プロポーザル方式により事業候補者を選考します。

2 業務概要

(1) 件名

(仮称)文化芸術ホール整備に向けた気運醸成事業支援業務委託

(2) 業務内容

文化芸術ホール整備に向けた気運醸成事業に関して、アソシエート・リサーチャー(研究員)を募集し、文化芸術を活用した港区の地域課題の解決に向けたリサーチを行うとともに、リサーチの成果を踏まえたシンポジウム及びワークショップの企画・実施、参加者の募集を行います。

※ アソシエート・リサーチャー(研究員)とは、文化芸術による共生社会の実現に興味を持ち、企画・制作・調査研究・創作等の経験や実績を有し、行政と連携しながら戦略的に区の文化芸術の発展を導く意欲がある方で、審査の上選考します。

※ 詳しくは、「別紙 仕様書」を参照してください。

(3) 履行期間

令和4年5月中旬以降の契約締結日から令和5年3月31日まで

(4) 事業規模

3,894,000円程度(税込)までとします。

※ この金額は契約時の予定額を示すものではなく、事業の規模を示すためのものであることに留意してください。なお、事業規模を超えての提案を行った場合は、失格とします。

3 参加資格

本件プロポーザルに参加する者(以下「プロポーザル参加者」という。)の参加資格要件は、以下の要件を全て満たす者としてします。各要件は、参加表明書提出日を基準日とします。また、共同事業体を結成し、参加申請する場合、構成する全ての事業者が参加資格に該当することが必要です。

なお、区は、本件プロポーザルの実施期間中又はプロポーザルによる選考後契約締結日

までの間においていずれかの要件を欠くこととなった者に対して、プロポーザルの参加資格を取消し、又は契約を締結しない場合があります。

- (1) 港区の競争入札参加資格登録業者又は競争入札参加資格登録業者と同等の資格を有すると判断される法人格を有する事業者又は団体等
- (2) 地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4に該当する者でないこと。
- (3) 経営不振の状態(会社更生法(平成14年法律第154号)第17条第1項に基づき更生手続開始の申立てをしたとき、民事再生法(平成11年法律第225号)第21条第1項に基づき再生手続開始の申立てをしたとき、手形又は小切手が不渡りになったとき等。)にないこと。
- (4) 港区競争入札参加有資格者指名停止措置要綱(平成16年7月30日16港政契第238号)に基づく指名停止の措置を受けていないこと。
- (5) 港区の契約における暴力団等排除措置要綱(平成24年1月26日23港総契第1157号)に基づく入札参加除外措置を受けていないこと。
- (6) 区外事業者がプロポーザルに参加する場合、原則として区内事業者と共同すること。共同事業体を構成する(代表企業ではない)構成員のみ区内事業者であった場合、または、やむを得ず、区外事業者のみで参加申請する場合は、加点対象とはなりません。
- (7) 「別紙1 仕様書」に記載している業務を適切に遂行することが可能な豊富な実績と運営・実施体制を有していること。

※(6)の区外事業者の区内事業者との共同

港区では、区が発注する契約において、区内事業者の受注機会の拡大を図る取組を推進しており、区外事業者がプロポーザルに参加する場合、「区内事業者と共同すること」を参加条件としています。区内事業者が単独で参加したとき、又は、区内事業者と区外事業者で共同事業体を構成して参加した場合に代表企業が区内事業者であるとき、一次審査において、評価点を優遇します(詳細は、「別紙2 選考基準」を参照してください。)

4 選考スケジュール(予定)

事項	日程
募集要項の公表・配布開始	令和4年3月11日(金)
募集要項に対する質問受付期限	令和4年3月24日(木)正午まで
質問一斉回答	令和4年3月28日(月)
参加表明書・企画提案書等提出期限	令和4年4月4日(月)正午まで
第一次審査(書類審査)	令和4年4月15日(金)
第一次審査結果通知	令和4年4月18日(月)
第二次審査(プレゼンテーション及びヒアリング)	令和4年4月22日(金)午前
第二次審査結果通知	令和4年4月27日(水)
契約締結・審査結果公表	令和4年5月中旬以降

5 提出書類の配布

(1) 配布場所

「13 担当・連絡先」のとおり

(2) 配布期間

ア ホームページ掲載期間

令和4年3月11日（金）から令和4年4月4日（月）まで

イ 窓口配布期間

令和4年3月11日（金）から令和4年4月4日（月）正午まで

(3) 配布書類

配布書類は港区ホームページからダウンロードが可能です。

ア プロポーザル関係

(ア) 募集要項

(イ) 別紙1 仕様書

(ウ) 別紙2 選考基準

※ 港区ホームページで、「港区文化芸術振興プラン」を公表していますので、御参照ください。

(<https://www.city.minato.tokyo.jp/bungeishinkou/documents/artsandculturepromotionplan.pdf>)

※ 港区ホームページで、文化芸術ホールについての情報を公表していますので、御参照ください。

(<https://www.city.minato.tokyo.jp/bungeiseibitan/bungeihall-index.html>)

イ 提出書類関係様式

(ア) 様式1 質問書

(イ) 様式2 参加表明書

(ウ) 様式3 事業者概要及び業務実績

(エ) 様式4 業務従事予定者の経歴等

(オ) 様式5-1～2 企画提案書

(オ) 様式6 業務実施体制

(カ) 様式7-1～3 共同事業体構成書等

(キ) 様式8 プロポーザル参加辞退届

6 質問書の受付・回答

(1) 受付期間

令和4年3月11日（金）から令和4年3月24日（木）正午まで

(2) 受付方法

「様式1 質問書」に必要事項と質問を記入の上、「13 担当・連絡先」宛、メールで提出してください。提出する場合は、送信未達を防ぐため、メール送信後に必ず確認の電話を入れてください。

(3) 回答方法

質問内容とその回答については、令和4年3月28日（月）以降に港区ホームページに公開します。なお、質問者名の公表はしません。質問内容が不明瞭なものについて

は回答しない場合があります。

7 企画提案書等の提出

(1) 提出受付期間

令和4年3月11日(金)から令和4年4月4日(月)正午まで

※ 事前に電話予約の上、来所してください。

※ 郵送や宅配による提出の場合、必着です。

(2) 提出先

「13 担当・連絡先」のとおり

(3) 提出方法

直接持参してください。

※ 郵送や宅配による提出も可能ですが、誤配、遅配等により期間内に書類が到達しなかった場合、受理できませんのでご注意ください。

(4) 提出資料

提出書類		様式等
①	参加表明書	様式2
②	共同事業体構成書等	様式7-1~3 ※ 該当する場合
③	物品買入れ等競争入札参加資格審査受付(写)	※ 港区物品買入れ等競争入札参加資格を有している場合
④	応募申込書等の提出日前3か月以内に発行されていることを要するものとして、履歴事項全部証明書(登記簿謄本)及び印鑑登録証明書 財務諸表(最新の事業年度のもの) 納税証明書(法人の場合は法人税、法人事業税(地方法人特別税を含む)、消費税及び地方消費税)	※ 港区物品買入れ等競争入札参加資格を有していない場合
⑤	加点対象となる地域貢献活動項目がある場合は、各項目指定の提出書類	「別紙2 選考基準」参照 ※ 該当する場合
⑥	事業者概要及び業務実績	様式3
⑦	業務従事予定者の経歴等	様式4
⑧	企画提案書	様式5-1~2
⑨	業務実施体制	様式6
⑩	見積書及び内訳書	様式自由

(5) 提出部数

ア 提出資料①から⑤ 1部

イ 提出資料⑥から⑩ 正本1部、副本8部

※ 提出資料⑥から⑩は順番に重ねて、ファイルに綴じてください。正本1部は表紙に事業者名を記入し、副本8部については事業者名を記入しないでください。また、全ての提案書等の中には、事業者名(協力事業者名を含む。)を特定する事項

(社名、マーク等)を記入しないでください。

ウ 提出資料(正本)データを格納したCD-R等 1枚

※ CD-R等表面には社(者)名を記入してください。

(6) 留意事項

ア 各資料はA4サイズ、文字サイズは11ポイント以上としてください。

イ 補足資料は全体で10枚以内とし、各提出資料のサイズに合わせる。なお、規定された記載事項は提出資料内に記載し、補足資料は各提出資料を補足するものとしてください。

ウ 正本、副本とも、各様式に様式番号を記載したインデックスを付してください。

8 事業候補者の選考と審査

「別紙2 選考基準」のとおりです。

9 提案にあたっての注意事項

(1) 次の各号に該当する場合は、提出書類が無効となる場合があります。

ア 提出方法、提出先、提出期間に適合しないもの

イ 記入すべき事項の全部または一部が記載されていないもの

ウ 虚偽の内容が記載されているもの

エ この要項に定める手続き以外の手法により、選考委員又は関係者にプロポーザルに対する助言等を直接または間接的に求めた場合

(2) 本提案に要する費用、旅費その他業務に関する一切の費用は、応募事業者の負担とします。

(3) 提出書類等の返却はいたしません。

(4) 提出受付期間終了後の提出書類等の差替え及び再提出は認めません。

(5) 質問受付終了後は、本業務に関する質問は一切受け付けません。

(6) 提出された企画提案書は、選考作業に必要な範囲において、複製することがあります。

(7) 選考された企画提案書に係る著作権は作成者に帰属し、港区は無条件でその使用权を持つものとします。

(8) 企画提案書に記載した業務責任者は、病気・死亡等極めて特別な場合を除き変更することができません。

(9) 区は、事業候補者の提案に拘束を受けないものとします。

(10) 参加表明後にプロポーザル参加を辞退する場合は、「様式8 プロポーザル参加辞退届」を提出してください。

10 その他

(1) プロポーザル参加者は、本業務その他により知り得た個人情報及び資料、その他守秘すべき情報を他に漏らしてはなりません。

(2) プロポーザル参加者は、業務の遂行に際して、港区情報安全対策指針を遵守してください。また、プロポーザル参加者は、区が実施する港区情報安全対策指針の遵守状況に関する点検作業に応じるものとします。点検作業には、情報セキュリティにおいて問題が発生した場合の検査、あるいはセキュリティ監査等が該当します。

- (3) プロポーザル関連書類作成のために港区が配布した資料等は、港区の許可なく公表・使用することはできません。
- (4) 本業務への参加申込事業者が1者の場合であっても、各審査を実施します。
- (5) プロポーザルの参加に当たりプロポーザル参加者に生じた損害等について区は一切その責を負いません。
- (6) メール等の通信事故については、区はいかなる責任も負いません。
- (7) 公正なプロポーザル選考が確保できないと判断した場合は選考を中止することがあります。
- (8) 業務委託に要する費用は、令和4年度予算として成立した額の範囲での契約となります。
- (9) 区は、事業候補者と契約を締結するにあたり、港区契約事務規則（昭和39年港区規則第6号）第39条の2の規定に基づき港区業者選定委員会に推薦し、審議を経ます。審議の結果によっては契約を締結しない場合があります。
- (10) 虚偽申請等不正行為が発生した場合は、事業候補者の取消、指名停止（登録事業者のみ）等のペナルティを課します。

11 選考結果の公表

本業務の選考過程の情報は、全て区政情報です。区政情報は、「港区情報公開条例」の定めるところにより、原則公表です（ただし、同条例第5条に定めるものを除く。）。

事業候補者として選考された場合には、事業候補者選考過程と合わせ、提出された企画提案書を原則として区ホームページで公表します。企業秘密に関する記載があるなど、提案書原本の公表が難しい場合は、概要版の作成を依頼します。

12 開示請求

提出された提案書等は、港区情報公開条例の規定による開示請求の対象公文書となり、開示決定される場合があります。提出された提案書の一部又は全部を、著作権法（昭和45年法律第48号）第2条第1項第1号に規定する著作物として、同法第18条第3項第3号前段かっこ書きに規定する意思表示をする場合には、提案書等に意思表示する旨及び該当箇所を明記してください。ただし、開示、非開示の判断は、提出していただいた提案書等の記載事項に基づき行うものではなく、提案書等を参考に、同条例に基づき区が客観的に判断します。

13 担当・連絡先

〒105-8511 港区芝公園1-5-25

港区産業・地域振興支援部地域振興課文化芸術ホール整備担当（区役所3階）

電話：03-3578-2538

メール：minato03@city.minato.tokyo.jp